

～高品質で美味しい「富富富」への総仕上げです！～

- ・5/14 田植えの出穂期は8/1と、目安となる時期と比べて2日程度早くなりました。
- ・出穂後20日間の平均気温は28℃以上と近年並みに高く、今後も同様に推移する見込みです。
- ・刈遅れによる胴割米の発生を防止するため、収穫前までの適正な水管理と、適期刈取りに努めましょう。

表「富富富」の生育状況（穂揃期）

	田植日	草丈 (cm)	穂数		葉色	出穂期
			本/株	本/m ²		
令和7年 ^(※)	5月14日	92.4	17.7	389	4.4	8月1日
令和6年	5月15日	86.8	20.0	431	4.3	8月1日
近年値 H29～R6	5月13日	89.5	17.9	393	4.4	8月1日
生育の 目安	5月15日	90.0	18.9	400	4.4	8月3日

※アルプス農協管内の5圃場のデータ

1 刈取りまでの水管理



【YouTube】
15 登熟期の水管理

【水管理のポイント】

○稲体の活力を維持し、胴割米の発生を防ぐため、刈取りの5～7日前までは**間断かん水**を行いましょう。

- ・登熟期間は、胴割米の発生を防止するためにも稲体の活力維持が重要です。
刈取り5～7日前までは、登熟に必要な水分を十分確保できるよう**間断かん水を徹底**しましょう。
- ・**フェーンなど高温が予想される場合は事前に入水**し、急な枯れ上りを防ぎましょう。

2 適期刈取りの実施



【YouTube】
16 収穫作業

【刈取りのポイント】

○胴割米の発生を防止するため、**籾黄化率80%（出穂後の積算気温1,050℃）を目安に刈取り**を開始し、籾黄化率90%には刈り終わめましよう。

- ・圃場の場所や田植時期等によって刈取適期は変わります。**必ず籾黄化率を確認**して遅れず刈取作業を開始しましょう。

【富富富の出穂期別刈取時期の目安】

出穂期	刈取開始時期(※) (籾黄化率80%)
8月1日	9月9日頃
8月3日	9月12日頃

(※) 過去10年間の近年値+1℃で推移した場合



登熟期間の気象条件に応じて、適期内に作業が完了するよう、計画的に刈取りを進めましよう。

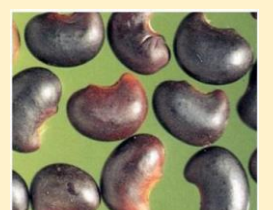
- ・各地区に設置される**刈取適期表示札を参考**にして刈取時期をきめましよう。
- ・砂壤土や枯上りの早い圃場から刈始め、**刈遅れによる胴割米の発生を防ぎましよう。**
- ・「富富富」は「コシヒカリ」に比べて、**籾の黄化にばらつきがあり、黄化が遅くなる傾向**がみられますが、**「コシヒカリ」と同等以上に胴割米が発生**しやすいので、刈り遅れないように注意ましよう。



胴割米

【刈取作業の留意点】

- ①異品種が混入しないよう、**コンバインの清掃を徹底**ましよう。
- ②クサネム等の雑草の種子は選別が困難なので、収穫前にあらかじめ抜いておきましよう。
- ③刈取りは、籾が乾いてから開始ましよう。
- ④ヤケ米発生防止のため、**収穫後4時間以内に乾燥機に入れ送風**ましよう。



クサネムの種子

3 適切な乾燥調製



【YouTube】
17 乾操作業



【YouTube】
18 調整作業



【乾燥調製のポイント】

- 毎時乾減率0.8%以下でゆっくりと乾燥し、**玄米水分14.5～15.0%**に仕上げましょう。
- 1.9ミリのフルイ目による選別を徹底し、未熟粒の混入を防ぎましょう。

・乾燥調製作業に使用する機械・ラインは、品種が切り替わるごとに清掃を徹底し、残留粳を完全に除去して下さい。

【乾操作業の注意点】

- ①水分ムラを小さくするため、2～3時間の通風乾燥を行う。
- ②送風温度を機種標準より下げ、ゆっくり乾燥する。
- ③粳水分17%程度で一度乾燥を止め、半日程度休止した後に再乾燥する。
- ④粳水分が17%以下になったら、手動水分計でこまめに水分をチェックする。
- ⑤青米の混入状況に応じた乾燥機停止時の玄米水分で乾燥機を停止する。

【乾燥機停止水分の目安】

玄米 100 粒中の青米粒数	乾燥機停止時の玄米水分	乾燥機停止後の水分変化
5粒以下	15.0～15.5%	乾く(－0.5%)
6～10 粒	14.5～15.0%	ほとんど変わらない
11粒以上	14.0～14.5%	もどる(+0.5%)

「富富富」は青未熟粒が混入しやすい品種です。
水分ムラによる胴割米の発生を防ぐため、乾操作業は慎重に行って下さい！



・調製作業前に粳摺機等の点検を行うとともに、清掃を徹底し、異品種・異物の混入を防止しましょう。

【点検・清掃時の注意点】

- ②ゴムロールが劣化や減耗している場合は交換する。
- ②脱ぶ率が80～85%になるようゴムロールのすきまを調整する。
- ③粳摺部へ脱ぶした玄米が再度入らないように、選別部を調整する。
- ④フルイ目は1.9ミリを使用し、適正な流量で屑米等を確実に除去する。



・米袋、フレコンは、品種ごとに明確に区分して保管・出荷しましょう。

粳水分や穀温の確認を！
(肌ずれ米の発生防止)

4 栽培要件の再確認

【成分使用回数の確認】

○現在までの化学合成農薬の使用状況を書き出し、**基準内となっているか必ず確認**しましょう。

・「富富富」には「**化学合成農薬の成分使用回数：12以内**」という栽培要件があり、これを満たさない場合、「富富富」として、消費者に販売することができません。

「富富富栽培こよみ」や農薬のラベル、農林水産省のHP「農薬登録情報提供システム」(<https://pesticide.maff.go.jp/>)を参考にして、現在まで使用した化学合成農薬の成分使用回数が基準内となっているか、今一度確認しましょう！

区分	農薬名	成分数
育苗関係		
苗箱施薬剤		
除草剤		
本田防除		
合計		

※紋枯病防除にバリダシン粉剤DL、バリダシン液剤を使用した場合、化学合成農薬ではないため、成分数のカウントは不要です。